

バストス週報

第二百六十二号
昭和三十年
四月十七日
発行

DIRETOR
KOITI MORI
—
REDATOR
SHION ODA
—
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112

BASTOS
認代
ANUAL
80\$.00

Sm. Smo.

焦眉の問題

学校都市として バストス更生の一考察

NO. 1

◎ 師範学校の強化問題

Ⅰ 師範学校の現況

去る三月廿六日師範学校経営補助費カ
クトクのパンケツチが催された。此の食
券を売り始めたのは同校の生徒たちだっ
たが、はかばかしくないのでバストス婦
人会の幹部五六名の方が一肌ぬいで応援
し一日がかりで売りさばいたということ
がある。

学校当局からは、パンケツチを世話した
人、それに参加した人たちに御礼をい
ついでに経費を差引いて十コント弱の純
益のあったことを報告している。又その
ついでに同校の経営面を打明けて、二十
名の生徒から上る月謝が月五コントで
先生の月給が九コントだから差引四コ
ト宛赤字になると発表している。

この不足金を今迄どういう方法で補填
して来たか知らぬが、年額五十コントか
の赤字になるとすると経営者にとっては
手痛いことであらう。

ジナジオでも生徒の少かった時代には
赤字で苦んだ相だが、赤字経営を克服す
るには生徒を増やし、生徒の月謝から先
生の月給を拂い得る様にすれば方法はあ
るまい。

ところで生徒を殖やすといつても、それ
に伴う設備を要する。早い話が目下の処
には教室が足りない有様だから現在の行
まで生徒を増やすことは、言う可くして行
はれないと言った無理が伴う。現在の程
度二十五人の生徒で経営を統制するとす
れば毎月四コントの不足を覚悟せねばなら
ず、赤字補填の爲めに試みにパンケツチ
をやつて見たが存外すらすらといつたの
で、隔月これをやれば、とうやら経営でき
ないこともあるまいと見当をつけたのが
も知れぬが、果してそういう消極的な方法
で学校経営が恙なくやれるものか、疑は
ざるを得ない。

一時的には、そういう方法をとることも
或はキフを集めることも、やむを得ぬとし
ても結局は生徒の漸増を計って自力のバ
ランサへ持ちこむ外ないが、そうすると
前記の校舍教室の問題が必ず起ってくる。
師範はジナジオ・サンジヨセとは全く別
な独立した学校の筈ではあるが、独立し

J. Nakamura
オーイ君！
君、トツパンへ行んだら
ポイント前の中村時計店
へ一寸寄るよ...



中村時計店

Relojoaria Confianca
Tupã

有名なワルカいろく取揃え
腕時計・紳士用・婦人用
宝石入指輪アリアンサ各種
腕輪・耳飾
楽器類各種
安心して買って頂ける店

ソパ市
ポイント前
C. P. 544

Alfataria Imperial

高級
マルヤマ
丸山の洋服は
ゼワクタイに
モダン・シック



J. Maruyama

た校舍を持たずジナジオの一部を使用し
て居るに過ぎない。サンフランシスコ教
育の総合教育方針として、先がジナジオを
作り、土地の希望や条件等に從つて師範
商業と次第に併立し、校舍を二重にも三
重にも利用する方法をとつてゆくの願
る賢明なやり方である。バストスに於て
も十数年前にジナジオを興し之を起点と
して高等商業、師範と次第に校名を増し
本年の末には師範第一回の卒業生を出さ
うといっている。師範は経営不振の爲め一
時閉校の議もあつた相であるが父兄の要
望もあり折角創設したものをみすく、や
めることは企劃の主旨にも及するのであ
らう。ボヨボヨながら経営をついでているのであ
(次頁へ)

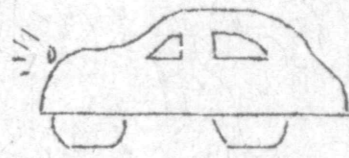
○バストスは中学校の
 おかゆをこらむつてゐる
 バストスに中学校を設置する案は、
 拓の企畫の一つであつて、之を実行に移
 したのは今から十六年前、當時の移住地
 事務所支配人畑中氏、バストス産業組合
 長脇山氏、及植民者のトリオであつたが
 初期の構想は多分に日本的なもので、今
 から考へると一寸時代はなれといふが、
 飛躍といふか、いくらか見当ちがいのイ
 テオロギイが主流をなしていたことは否
 めない。

惟その當時は伯國のナシヨナリズム
 的風潮抬頭の時期でもあり、その飛沫を
 正面からかぶつてしまつて、最初からし
 つくり行が、難航を重ねてゐる内にとつ
 とう閉鎖の憂き目にあつてしまつた。最
 初の入学生が二年になつたばかりで中絶
 させられたわけである。そのまゝ、校舎は
 立ちぐされるのではないかと思はれたが
 同もなくサンフランシスコ派教団から声
 がかかつて、改めてミツシヨンスクール
 として再出發したのである。之れが現在
 のジナジオサンジゴの始まりで、やがて
 十五年の丁史を彫さんとしつゝある。
 バストスに中学校のできたお陰で、向学
 の少年を親の膝下で勉学させることがで
 き、同校の卒業生で更に聖市の上級校へ
 進み、同校の卒業生で更に卒業して実社会
 へ進出してゐるものは相當の數に上つて
 のほつてゐる。この事を思ふとその温床
 となつて小ぶな萌芽を育んだバストス中
 学の功績は全くすばらしい役目を果して
 いるものと言はねばならぬ。
 勿論僧團の側から言へば遠大な宗教運
 動であらうが、バストスの更生發展とい
 う地域的な見方からすると、ジナジオの
 お陰で子弟の基礎教育が出来るばかりで
 なく、中学校の所在はどの位、町の繁榮
 に寄与してゐるか判らない、更に浮腫の
 人達をも數多くバストスに落附かせたの
 みならず、則ち学校都市の構想によるバ
 ストスの将来を更に大きく暗示して居る
 ことをも肯定せしむには居られない。

師範学校を更に強化せよ

バストスの学校都市化運動について
 従來者識者の間では、論議されて
 居るので今更めてその可否を論ずる迄も
 なく、中学校の外にセンテスコでも其他
 専門学校をも招致して、その開校を見たな
 らば、バストス人はその子弟を遠く遊学せ
 るの心配もはぶけ、又他地方の子弟を
 る吸引する經濟面も自然開かれ、バスト
 スの滋養となるのは必定だが、学校開設
 は中々之う可くして實現の六ヶ敷い同
 題であるといふ。そのうち途方もない大
 計畫は、はらばらき措き、サンフランシスコ
 教団の現在やつてゐる師範を強化して中

自動車賃の
 値上について



皆様も、すでに御存の様に
 四月はじめのからガソリン代の
 五〇%値上りの為め、私共
 不本意ながら……
 やむを得ず……
 自動車賃を、これまでの料金
 より三〇% だけアップメンタ
 して、いたゞくことになりました
 御承知下さいませ、且つ又少々高
 くなりましても、せいぐ御利用下さ
 る様、おねがい、いたします

バストス
 貸自動車業者一同

くことが目睫の急務であり、やろうと思
 へば直ちに着手し得る手近かな目標であ
 るとも言える。
 前記のべた校舎教室の問題が解決さ
 れ、あとは生徒の拡充、經營の方法等内
 部の問題は經營者の手腕に信賴する外は
 ない。
 ところが現在僧團に貸与してある中学
 校々舎は、このように經營者の手で使用さ
 れてゐるが、一寸のちいで見ると面白い
 が、少し分筋窟らしい。
 現在一年生が百名、二年が七〇名、三
 年が五七名、四年が五三名、之れが晝同
 学生で更に夜同生が九十三名あり、この
 外に商業部が五〇名、師範科が二五名、
 というから中学生が三七三名、その他合
 計四二八名が、群めき合つて午前、午後
 夜間にわたつて、間断なく此の校舎を使つ
 てゐることになる。
 だから師範科拡充を提案して大方のバ
 ストス人の共鳴を得んがためには、只單
 に生徒を増せといふような空手形でもなく
 一衣實現性のあり而も條件容易と云えな
 い、進もさして困難でない一案を示さねば
 なるまい。
 その新案とは何ぞ！ 乞ふ次号を待た
 れよ。(つづく) 此の問題は可なり重大で
 すから皆さんもよくお考え下さい。(赤音)

生花と和の心

嵯峨流華道師範
宮武 勝 著

先日來新聞紙上で「生花と道」について述べましたが、此の生花と結びついで、道とは何でありましたか。私ごとさ、浅学の輩が説明申上る華道釋迦に説法の類で申します。道はその道に這入り方が少しく異なる点もあると思ひます。儒学の道は裏面から人倫を説いてあります。仏教では念仏から覚悟せしめ、華道では宇宙自然の和の中から見出すのであります。和は華道の根元であり、故に人倫も道徳も、おのづから湧き出るのであります。和とは調和の事で、私共人間の目で見ると、宇宙自然の雪月花風水の美は大きな和のすがたでありまして、春夏秋冬天然の景色心に和の欲けた人間には決して美しさを感ずることはできないのであります。和とはすべてのものが溶け合つて均衡の採れたありさまであり、その中からは片の無理も不合理も見出せない姿であります。人と人、又國と國との和は人類の平和であり、又夫婦親子の和は一家の榮であり、和らゆる光明ともなり、如何に美しい花を挿した生花も調和を欠いた姿は華道の立場からは何等価値もないのであります。生花は花と人の和であり、その枝葉は色彩の調和、花瓶と花の調和、花形の調和、飾る場所、時期、調和などと数え上げたならば生花は和の色に一つさういふことができないと思ひます。言いかえれば花を習うことは和を自覚することであり、又山野に自生する草木といふも風波寒暑にも堪え忍び、踏まれてもふまれてもめがたず、その姿を忘れず、芽ふく生命力は一功の迫害に争う事なく、自然現象の恩恵と障害の両方に無抵抗に成長し秩序正しいありさまは大自然の調和と平和の真の姿でありましょう。この大自然の美しさを自覚して一瓶に挿す花の中に和を抜き出すのが生花であり、その生花をすする心は平和への第一歩であります。

私方で仕立て珈琲園に植えたのこり



一千株程あります。Y.....

池の坊花伝書(初等科)に「咲く花は葉や枝に支えられて美しい。その調和に生きた働きがある。春には春の花が咲き、夏には夏の花が咲く。その絶えざる営みと、他に争ひあはさずと生きた調和は永遠に平和な生活の姿である」とあります。又「他に反撥しない和らかさが花にある。純粋な思いはこの花に触れてゆく。理解が愛情となり、やがては花のやうに頼り心になるのである」ともあります。華道では平安初期の更帝嵯峨天皇を始、池の坊道祖小野妹子が専務と号し、奈茂山城の六角堂に一切を齎して國家の守護神、大層正如意輪觀世音を本尊として、聖徳太子の御聖徳子を思ひ、供奉り道に這入れ、よりこのかた聖徳太子が「以和為貴」と仰せられました精神を、花を生ける道に現れようとされたこの和を希う心が華道第一の特色であります。この故をもちつて生花では美しい調和こそ理想であり願ひであります。和らぎは最も尊ぶべきでありましょう。生花は又すべての芸術も生活も和らぎ一つになつた時こそ尊いものが生れるのであります。天地一切の萬物はすべて此の和の中に生きてゐるのであります。和を失するは無理であり、不自然であり、あらそいを生じ、前一切の破壊であります。生花をすする人は煩惱を超越して、月に雲の花からその和の自覚に到達し、月にも雲にも花に氣のきびしい生活の中からの雲の彼方に月の風情を、嵐に散る花の趣からも自然の和の美しさを見出すことも、人の心の和の美しさを自覚することも、生花が私たちに示す大きな教訓であります。(バスター(四月五日誌))

宅地 賣り度し

ホリネス教會の下隣り (フ・カールガス)

(ニ・X四〇MT) 一タツク

希望者に安く売ります

週報社へおたが板下さい

御入用の方に十本でも二十本でも

差し上げます。家の周囲へ植えて下さい

クロリアI區一組

桑本原久治郎

Jiradenantes の日

四月二十一日はチラデンテスの日で一般に休日ですがスラジル獨立運動の志士ジョキンドシルバ・シヤカイエル(俗に齒運者であつたからチラテンテスよばる)の処刑日であることを記念する日です。

左に安藤全八氏の書かれたブラジル歴史の中から抜萃して今から一六〇年前の事情をしらべて見ましよう。

○ミナス州の獨立運動とチラテンテス
十九世紀のはじめ一時盛んだつたミナス州は金銀もひどい不況に見舞われた。そして沢山の探鉱される金を大部分はポルトガルに持ち去られてしまふので結果に於てスラジルを富ますことにはならなかつた。

不況の上に乗じて税に苦しめられて産業は遅々として發展しなかつた。そして植民者たちの氣持はだん／＼重苦しくなつて来た。彼らの間には遂に「このまゝでいゝの道もポルトガルの植民地となつていゝやがて破滅してしまふだろ」との苦境を救うにはポルトガルから獨立してよい國をつくるより他に方法がないと考ふるようになった。殊に最も重税を貰い又ポルトガル未だ金の採掘者と常に激しく争つてつづけて来たミナスの植民地では、いさゝか本國から獨立することを熱望した。

その頃北アメリカのイギリス植民地でも本國の悪政に耐えかねてついに獨立したといふ報知が傳つてきたのでミナスの獨立運動は一層はげしくなつた。

當時フランスに留学中の青年学生は北米合衆國の獨立に甚だしく刺戟され、ジョゼ・ジョアキン・ヌメイアその他の数々の学生は熱心に革命の計畫をたて、フランス駐在のアメリカ大使にブラジル獨立のため北米の援助を希望した。これは受入れられた。

其の後まもなく留學生ドミンゴス・ウイナル・バルボザとジョゼ・テルウエス・マニエルの二人は故郷ミナス・ジエラエスに帰つて来た。そしてポルトガル政府の悪政と重税を呪う事を以て是非革命を断行しなればならぬとの意をかためた。そこで彼ら二人はフレイレ・ネ・アンドラーネ大佐、アルカレガハインシヨット・フラウジエ・マヌエル・コスタ、トリスゴンホカ及び其の他の有力な志士と語り合ひ、そのかに革命の計畫をすすめていた。

この革命運動に加つた者の一人に普通にはチラデンテス(齒抜き)と呼ばれていゝジョアキン・ジヨセ・シルバ・シヤカイエルといふ齒科医がいた。彼は正義に対する信念が強く理想を実現するためには死をも怖れない強い意志をもつていた。人々に尊敬されていた。

たまたま知事ヌスコシス・デ・バルバセーナは滞納税金に対して最しい取り立てを始め、植民地では非常に反感を抱き、

スタジオ
寫場の新装備一新

コメタ寫真館

の寫真はますます

光り輝く珠玉の美しさです

大変便利な

ホトコツピアの御利用を

おすすめいたします

○鑑識手帖・外國人登録・

○運転手カルク・労働手帖・

○健康証書・ナシメント

○ジロローマ・其他のドクメント

大切な書類を持ち歩いて汚損したり紛失しては大変です

ホトコツピアにしてあげれば本物と同様通用いたします

古田寫真館の獨特奪回の技術

遂に不慮な形勢を示すに至つた。革命の志士は好機到れりと着々獨立の準備を進めたが革命に必要な武器弾薬を得るため

サンパウロやリオデジャネイロの援助を求めた。その他の地方にも獨立運動の氣運

をあふり立てる目的でチラテンテスはひそかにリオデジャネイロに出た。

この革命はきわめて注意深く行はれたにもかゝりならず、密告されて事前に發覺

しチラテンテスを始め革命主謀者はことごとく捕えられた。

ミナスのバルバセーナ知事は事態の重大であることを知り税金の取り立てを中止して植民者の不平を和らふことに全力

を注いだため、獨立運動は忽ちくづれてしまつた。

裁判の時、チラテンテスは全責任を一身に負ひ同志の者を無罪にしようと思つた

が主謀者は何れも國外追放となり、チラテンテスは死刑を宣告された。

一七九二年四月一日あわれ正義の志士チラテンテスは絞首台の露と消えた。

しかし彼の死は一般民衆の同情を呼び起つて獨立の精神はチラジルの胸に深く根を張ることになった。

それから三〇年後ドンペドロによつてチラジルの獨立が宣言された。

ほわくスポーツ・シーズン
バドミントン球界の動き

(一) 第七回日毎主催全伯選抜野球大会

来る四月十九日、二十、二十一日ロンドンにて
色々の都合で昨年はバウリスタ線ケ
ムは出場しなかつたが日毎社の懇意もあ
るのよゝむ四月三日バ線チームの関係者
バドミントンに集合、協議の結果出場と決し
左のメンバーによつてナインを編成する
こととなつた。

ツパン市より大原、近井、齊藤
バドミントンより渡谷、渡辺、鴨原
マリリアより田中、日下、荒木、山本、斎藤
オフルスより浅野、井田、貝田、加藤
アムマンチナ、井原、谷口、川

ルセリアより佐々木
ドラセナより和田、不原
尚合議の上監督に西 徹君を、助監督に
梶田君をスコア係に小川君を推し、来る
四月二十一日より二十四日迄バドミントンに合
宿練習をした上、改めて四月廿七日バド
ミントンより一路ロンドン入り(大会地)へ向
け晴れの出発をすることになつた。

(二) 汎バウリスタ少年野球大会

来る七月聖市で挙行されるバウリスタ新
聞主催全伯少年野球大会への出場権カクト
クのため、バドミントン、ドラセナ、ルセリア、三ナ
ムで争覇戦を行うこととなつたが、場所
及期日は後日決定発表する由である。

(三) パ線準青年野球予選大会

南米時事新聞社主催準青年野球大会も来る
七月の候聖市で開催されるが、この出場
チームも各線中の選優勝でなければなら
ぬ。来る六月二十日(日)ツパン野球に於て
バドミントン、ツパン、マリヤの三チームによつ
て争覇戦が行はれる。絶大なる応援を期待
する。

第九回汎バウリスタ 野球予選大会

来る八月十三、十四日マリリア球場に於て汎
バウリスタ予選大会が開かれることに
なつた。
出場チームは左の通り。ツパン、マリリア、ポンペ
イア、ツパン、バドミントン、オズワルド、ク
ルス、ルセリア、ドラセナ、アムマン
チナ、の八チームである
此の一戦に優勝すれば全伯大会の槍舞台
へ出られるので各チームとも、陣容を秘
して今より策戦を練つてゐるが、バドミ
ンチンも宿敵オフルス打倒の準備怠り
なく、二三新人を登用し清新の氣を吹きこ
み晴れの大会への秘策おこしく、怠りなし
との事、ガンバレ!

字でかい漫画

本年新春号の週刊朝日にのつていた
クイズです。まだ答が出て居ませ
んから皆さん解いて下さい

(一) 番 演 (二) 知九八十二朝

(ヒント子供外で...) (ヒント、ツア見なれしたワ)

(三) 争議初心連盟

(ヒント冬になると毎年のことながら)

(四) 空 座 栗 (五) 娘百割れ女全曲

(ヒント 強いです) (復古調のお正月)

(六) 吾算傳手不悔今日

(ヒント 皆で考えればワケなるとける)

いかかです。よめますか。春永手特別号に
解答がでる相ですから、おしらせします。が、
かりに私がよんで見ますから、お笑い下さいま
ちがつても、ごあいさようです。

1. たこ はね
2. シルク ハット ニエー
ニング
3. ストウブ連盟
4. ヨコズナ 栃 錦
5. 娘モモワレ母アムマケ
6. 一家ソロツテクイズ狂

至急 責却 したし

一 養蚕室 二棟

三三×七米、材料付、殆んど製材
屋根はタボインマ

一 住宅 壹棟

サツペー

別々の御商談にも応じます

左記へ御越し下さい

カスカッタ一區一組

浅野武男

来る四月十七日

午前七時より開始

NO 22 支部対抗陸上大会

主催 聯 青

大野鯉翁の若い頃

バストス成功者物語

4 除隊の活動

○「こゝには一つ大野さんの戸籍しらべと行きますか。」
 大野さん「そんなめんどくさい事いりやアせんがな。彼早稲東濃富野郷出身でワシはアさんにはアさん、同村の松村家、ワシが二十七歳で曹長になった事一しよになつた。ワシの生年月日、そんなものいりかいな、明治十四年、オマケは大野新十郎でワシは長男だ。」
 「アラジルへはいつ？」
 大野英雄さん「うちら昭和三年四月渡伯をモジ穴へホリこまれて四年しんぼした人よ、高等小学を出てすぐだからワシはア十五だつたナ。」
 「英雄さんのご兄弟は？」
 大野老「孫の方から先に言はしてア、孫の合計は二十と何人、なにも未だ二十人ぢやうとが、ワシの子は男三人に女二人だよ。」
 大野さんは除隊すると富野村に帰って茲父祖の地を継いで農業を經營した。美濃は山國おかいこところ。當時は隣県愛知と蚕糸業では覇を競い、先進県として長野に次いで盛んなところであつた。又野郎の養殖は愛知静岡と並び祿せらるる程盛んであつた。
 大野さんは今迄のような副業養蚕でなく専任的な飼育を始めて人々を驚かした。が傍ら養魚、養鶏にも手を付けて多角的な収入を計る事を忘れなかつた。
 永らく軍隊生活をした関係上在郷軍人分會長に推され、青年の指導に囑託され社会生活も公私とも非常に忙しく常に座の温まるひまもない位であつた。當時日本は農村は経済的にジリ貧状態に陥りかゝつてゐる頃だつたから、農村立直しにどの角度から見てモ改良改革の余地は充分にあり、壮年氣概の士大野清一郎氏は同志を糾合して、蚕糸業組合から更に進んで信用組合を創設し組合長として十年の長きにわたつて村の農業経済に精魂を注ぎ、あつたこと、郷党の感謝となつてあらわれ、氏一家が渡伯を決心した時は全村で泣かぬものは無かつたといふ。昭和三年一月二十二日、村の小学校で開かれ大野氏送別会は全村をこめて出席し、村長小沢慶次郎氏を名目富野神社宮主、信用組合長、小学校長、在郷軍人会とあらゆる村の公共団体の長を以て五指にあまる感謝送別の辞を奉書に認め、こゝろ、まつて声涙とも



ピン



Taboa de Pinho

うすいもの、あつちのもの、中ぐらゐのもの、長さ、五米・四米・三米、お好み次第、箱や棚、メーザ、バンコ、と、つかいみち、は、たくさんあり、一枚でも二枚でも買ります、多量の御求めは特に御商談！、カロツサ製造場

富吉木工場 (菊地パブリシア上隣)

にくたりつ読み上げ、且つ惜別し且つ声援し、暮れ早き山國の冬の日のかくれ、二んなに迫してもらつて、期待をかけたのは、何とかならん事には村の衆にあらせる顔が無いで、いつも頭の中に村を出る時の感激を思い出しては、ワシらは一生けん命にはたらきましたよ」と大野老は、しみじみと述懐するのである。大野さんは村の将来、わが家の将来を考へると、どうも海外飛躍の方角へ心が向き、一度は満州へ志を立てて、かつた。大野へ笑地踏査の杖を引いたこともあつたが、日本の満州経営以前の時代であつたため決心がつかかなかつた相である。そこをカラジル渡航セントンがきこえ出た。たかりたまりない、チャンス！絶対の機会到来とはかり渡伯の決心をした。事はもう四十を越した、長男は十五になつたし、この歳を失つてなるものかと、しかし外渡航の先輩もあるか無さかの山村で、よく半世紀の将来を洞察を全うしたものと、郷友栗田弥十郎老(前同参照)はその手記に次の様に書いてゐる。
 「蛟龍は小なりと虽へども池中の物に非ず、風雲に染じ決然と渡伯の決意の報を予は君の天資靈敏の

剛直古武士の如き人となりを知るも、天に
も地にも換えがたき敬愛の盟を失ふに
思ひす極力阻止したるも及ばず、見届く
祖光宗の靈は同感なるも子々孫々の
大計を奈何せん、齡天命に道きも五年有
余の歳格なる軍隊生活をなし、二年有
激戦數十合の砲弾の洗礼を受け、幾度か死
線を超え、心身共に鍛錬して今日に至る
且身に余る光榮の天恩の恩賞を徒りに
拝受し、未だ君恩に答ふるを得ず、慚愧の
至りなり、身微弱なりと異へども、忠魂
を精忠を以て、君國の爲め率先して新天
地を開拓し、欣然殉忠の人柱たらんのみと
誓願存りに下る

栗田老の記録によると大野さんの渡伯
の決心は第一に子々孫々の事を考へるこ
日本の農村はせまき事、そして吾人が
海外に雄飛せんとするは、一に天皇の恩義
に副う誠忠の道であるとする、軍人魂の發
露だと述べている、大野さんひとりでも
當時の日本人の氣持は、一にも二にも皇室
國家を中心にして物を考へるならわしであ
た。それ故にわれ海外に往かんと思は
たとえそれが自家の運命開拓であつても
國家精神の裏附があり、國民として使
命と観じたところに希望以上の何物かに
憑かれていたと言へる。

故国にのこした一子のこと

大野さんは栗田老の手記によると、滄海
万里の怒濤を蹴つて、希望の新天地、汝野
一望にひろく大原始林の地、アラジルに着
き、昼前くらゐ草原に毒蛇と戦ひ、歩一歩
開拓の鋤を道の妻互に励まし、少年の
英雄を唯一の支柱と恃んで、萬難を排し
つ、精勵実により、今や花々たる草
原は美田と化すに至つた、嗚呼！人生到る
處青山あり。という次第だ。

大野さんは一昨、千金を投じてシツケ
にはまれな大邸宅を建てた、マンジヨカ
製粉でもうけた、いはば餘徳だ、というが、
はじめの計畫では老夫婦健康の姿で訪日
がしたかったのだ、相だが、くりにこのし
た二男賢一さんが渡伯する決意を示して
来たので、訪日の唯一の希望がなくなつ
てしまひ、そんならその金で家でも建て
て、さういふ空でゆつくり休んでくらす方が
工工と思案をかえたり、相な。

そのムスコの賢一さんについて、小説
のような物語りがあるのだが、これは又
本人のゆるしを得て別の機会に書くこと
とする、その賢一さんは本家の豪壯な白
聖の家の隣りに新しい住宅を構へ、兼養
をすてた主人はなれぬ蚕飼いに新しい人
生の開拓を始め居る、今や大野農園
は養蠶業を、養蚕を一望にあつて、一家
大繁栄の、養蚕業を、養蚕を、養蚕を、
夢に描いた成功物語りを、今やつくり現
に味っている、(M.の生一五五、四一、一、脱)

都市対抗卓球戦

去る四月十日ホンパイア卓球選手花田
ネルソン、同ミルトン、同シロー(A級)
パウロ、シミズ、シニブ、ノボル(B級)等の挑
戦に、浅野、遊谷、山中、鏡畑(B級の精鋭
招本(A級)を、浅野、遊谷、山中、鏡畑(B級の精鋭
を、すつて、之を要撃し、左の戦績を以てバ
ストス軍の戦利に帰した。

所要時間(午後一時より五時迄)
場所 コチア倉庫階上

一回戦	二回戦	三回戦	一回戦	二回戦	三回戦
招本 対 花田	熊原 対 松本	熊原 対 招本	浅野 対 山中	鏡畑 対 遊谷	浅野 対 山中
5 対 0	4 対 3	4 対 2	4 対 4	3 対 2	4 対 4
花田 5 点	招本 4 点	招本 4 点	浅野 5 点	鏡畑 3 点	浅野 5 点
シニブ 1 点	松本 4 点	招本 2 点	山中 4 点	遊谷 2 点	山中 4 点
ノボル 1 点	熊原 4 点	熊原 4 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
パウロ 1 点	熊原 5 点	熊原 5 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
招本 1 点	招本 6 点	招本 6 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
花田 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
ミルトン 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
シロー 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
パウロ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
招本 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
花田 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
シニブ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
ノボル 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
パウロ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
招本 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
花田 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
シニブ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
ノボル 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
パウロ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
招本 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
花田 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
シニブ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
ノボル 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点
パウロ 1 点	招本 7 点	招本 7 点	浅野 4 点	鏡畑 2 点	浅野 4 点

盆栽に庭木に

見事な

アルト区



分譲

忠良

七組

西

尋ね人

(總領事館より)

左記の者現住所知り度し本人又はその消息御承知の向きは至急總領事館(聖市C.P.三六一号)へ御一報を乞ふ

- 第七号(日本からの手紙による)
- 1 青森県人 沢田卯之吉、清
 - 2 茨城県人 園部長之介
 - 3 山形県人 鈴木長作、孝作
 - 4 山口県人 城間宏恵
 - 5 長野県人 佐領山運平
 - 6 長崎県人 神原武雄、ミズ子
 - 7 沖縄県人 澤松(又は安植松)
 - 8 北海道出身 下村藤松
 - 9 北海道出身 坂本学、ネキオ、維信
 - 10 熊本県人 貞永三郎、しで、樂恵
 - 11 福岡県人 鈴木玄、菊枝、満
 - 12 鹿児島県人 坂上孫次郎、工、
 - 13 北海道出身 壽田実、ミハシ、直達
 - 14 北海道出身 自根重喜、静子
 - 15 高知県人 崎本正支
 - 16 兵庫縣人 菅村吉治
 - 17 菅村北海道 鈴木末義
 - 18 菅村北海道 齊木滝次郎、ヨリ、千代香
 - 19 新瀉県人 第八号(日本からの手紙により)
 - 1 熊本県人 白石代雄、サカエ
 - 2 愛媛県人 加藤竹治、ミネ、道一、武利
 - 3 福岡県人 坂上伸衛、キン、正明
 - 4 元聖市在住 島里郎、約子、正太郎、正久、昭子、福美

Casa Gaeda Agencia PFAFF

御しらせ

皆さますでに御承知でもございませうが、今回為替変動の爲めドイツ製PFAFF ミシンが大巾に値上りいたしました。

當アベンシヤ・PFAFFでは日頃の皆様の御愛顧にむくゆる爲め

前田呉服店

みしん部

ストックに限り以前の値段

さしあかます

PFAFF みしん御入用の御方は一日もお早く

もとの値のストックの



ア・テ・バルバロス街

なによりぬうちにお求めください

田中家のおめでた

- 5 元サニス市潮ホレル勤務坂口コリア
 - 6 長野県人 矢島松巳、たけよ
 - 7 長崎県人 森林興市
 - 8 広島県人 長広五郎(伯名ギード)
 - 9 大阪府人 中本正雄
 - 10 増田甚三郎、正雄
 - 11 元サニエルド ドカニ在任 吉田忠
 - 12 元ガララハス在任 上野正三
 - 13 東京八丈島出身 菊地ふくよ
 - 14 北海道入 山本興吉、順、會子
 - 15 埼玉県人 野口常吉、昌、源七、惠名、富子、余心
 - 16 大改府人 坂井富三郎、ハル、尚、清、正
 - 17 沖縄県人 徳原俊雄、カミ、俊作、義広
 - 18 石川県人 小田外一、マキエ、和子、武男
 - 19 元マニラ州セボネラニカ 吉田克巳、信義、恵い
- 元コチヤ・バストス倉庫主任田中藤氏二男年也君はワパン市コチヤ倉庫主任として信任願る厚いお中にてG.I.I.区溝部優氏長女貞子さんと婚約中の処去る四月十日石田出雲守光助殿の御媒酌で結婚式をあはれた。同夜池田ホテルで盛大な披露宴を催し内外人百余名を招待した。年也君は嚴勤な人格と真面目な勤務振りをかわれたいるが何分ソルタイロではとの声にたじ、早速立派なカホード、之で愈々信頼倍加する。と組合員の喜ぶこと、めでたし。